

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 2月 16日

事業所名 LINO

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・活動内容に合わせて、児発、放デイの仕切り(パーティション)を外し、広くしている。また、多目的室や公園等を活用している。	
	2 職員の配置数は適切である	○			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		・事業所内のバリアフリー化はされている。	・テナントビルで開所している為、共有スペースにおいては設備面でのバリアフリー化は困難な状況であるが、安全面に配慮して支援を行っている。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・朝のミーティングや職員会議等を活用して、目標設定と振り返りを行っている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・昨年度の評価表(ご意見を踏まえた対応)を基に業務改善につなげることができた。	・今年度の実施した評価(ご意見を踏まえた対応)を基に業務改善につなげていく。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・ホームページ(lino2020.jp)で公開し、月2回を目処に更新している。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	・第三者による外部評価は行っていない。	・今後、第三者による外部評価の実施を検討していく。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・ABA研修を職員会議にて実施している。	・必要に応じて研修を実施していく。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		・アセスメントツールを活用し、個別支援計画書に反映させている。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・黒澤礼子氏監修のアセスメントツール総合版を使用している。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・朝のミーティングを通して個別支援計画に沿った支援ができるよう意見を出し合っている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・偏ったプログラムにならないよう、前月、前々月のプログラムを見合わせながら月間プログラムを立てるよう配慮している。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		・休日や長期休暇では、平日に行えない活動を計画し、課題に沿った支援をしている。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		・子どもの状況に応じて、個別活動、集団活動を適宜組み合わせを行っている。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・朝礼時に必ず支援内容や役割分担の確認を行い、丁寧な支援を心掛けている。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・活動内容、個別の気づきに対しての振り返りを行い、記録に残し、次回の活動計画に反映させている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・支援ソフトを活用し、日々の活動の様子を記録している。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		・評価会議を実施し、支援の必要性や見直し等を行っている。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		・ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、個別支援計画書へ反映させ、支援している。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・児童発達管理責任者が担当者会議に参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		・迎いの引継ぎ時や電話連絡を通して、本人についての情報共有や学校行事等の確認を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		・医療的ケアの必要な子どもに対しては、連絡体制を整えており、医師の指示書を基に支援を行っている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		・必要に応じて関係機関と情報共有を行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		・対象児童がいない。	・対象児童がいる際、移行支援シート(夢すこやかファイル)を作成し、情報提供を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・年に一度医師による面談を実施し、支援の助言を受けている。 ・必要に応じて児童のかかりつけ医と連携をとっている。	・積極的に参加していく。 ・児発職員が参加し、情報共有を行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		・公園や公共施設等を利用し、交流の機会を設けている。	・あえて交流の機会は設けていないが、公園や公共施設等を利用した際に、他児との交流をすることはある。今後、保護者からの強い要望があれば積極的に計画していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		・参加していない。	・今後、該当するケースがある場合は参加を検討する。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・定期的に保護者へ連絡を行い、子どもの状況や課題について共通理解を図っている。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		・「園長と語る会」を実施し、保護者の子育てに関する相談・悩み等に対し、親業における子育てのアドバイスを行った。		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・契約時に重要事項説明書の説明・交付を行い、保護者より同意(捺印・署名)を頂いている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・保護者より子育ての悩み等に対する相談があった際は、必要な助言やアドバイスを行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・「園長と語る会」を実施した。保護者同士が話し合える機会を提供し、助言やアドバイスを行った。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・保護者より苦情があった際、迅速に対応を行っている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・毎月、LINE通信やホームページに掲載している。	
	35	個人情報に十分注意している	○		・写真掲載同意書を基に個人情報に十分配慮している。 ・ブログをあげる前に、複数人の目を通してからあげるようにしている。	・ブログをあげる際に、複数人の目を通してからあげるようにする
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・個々に応じて、伝達手段を工夫して対応している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		・当テナントビル内で地域交流活動(ハロウィン)を実施した。 ・避難訓練で地元の消防署を訪問、見学した。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	・火災、風水害、地震、不審者マニュアルに基づいて避難訓練を実施している。また、保護者の方へ報告している。 ・感染症対応については、ホームページに掲載している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	・年間計画を基に、月に1回実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	・虐待防止委員会を中心に、研修等を通して、虐待防止に繋がる支援の方法等を職員間で共有することができる。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	・身体拘束適正委員会を中心に、研修で身体拘束の三要件を確認した。 ・身体拘束同意書の説明を行い、同意(捺印・署名)を頂いている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	・アレルギーについて、聞き取りを行っている。また、アレルギーのあるお子さんについては医師の指示書を提出していただき、医師の指示書を基に対応を行っている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	・ヒヤリハット報告書を作成し、全職員が共有し、再発防止に努めている。	